

フルハシEPOの経営理念

当社は健全な経営を行う企業として、以下の経営理念を掲げて事業を遂行しています。

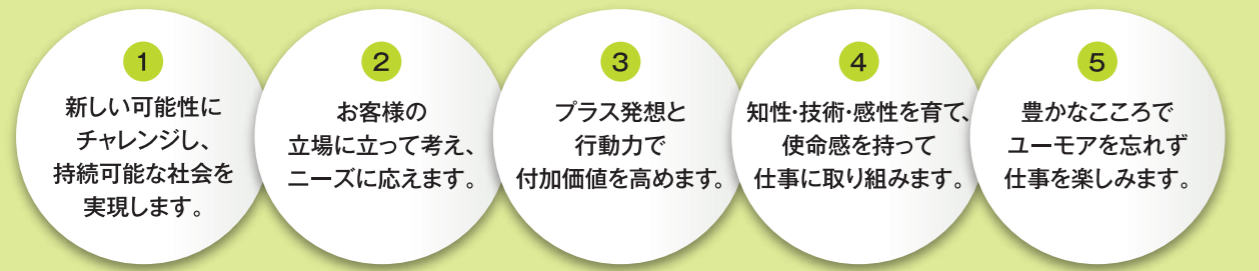
世のため 人のため 地球のため 社員のため
持続可能な社会を創造します

経営理念を実現するために、当社で働く社員一人ひとりが同じ価値観をもち行動するための基本的な心構えを行動指針にまとめています。

FULUHASHI Spirits

世の中にとって必要か？ 正しいか？ 環境にやさしいか？

自ら未来を創造する



フルハシEPOタイムライン

フルハシEPOは1947年に製材製函業として創業し、1956年から木質バイオマスの利用に着手、製材過程で出る大量の端材を破砕したチップを紙の原料として製紙会社に納めるようになりました。1963年には物流に用いる荷役台「木製パレット」の製造が新たに事業に加わりました。

ところが、1973年に起きたオイルショックにより石油価格が高騰。一方で建設廃材が大量に野焼きされていたことを鑑み、当社の技術で燃料として原料化できないかと、1984年に燃料製造工場を稼働させました。1990年代からは国内外に拠点を拡大しています。

業界トップクラスの技術と環境への情熱は脈々と受け継がれ、2008年以降は、エネルギー創出事業を新たに展開しています。
(詳細はp.11-12をご覧ください。)



コーポレートガバナンス

基本的な考え方

当社は持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目指すとともに、法令順守と経営の透明性を確保するため、経営と執行に対する実効性の高い監督機能を確立し、様々なステークホルダーの信頼に応えることのできるコーポレートガバナンス体制の構築を重視し、さらなる体制の向上に継続して取り組んでいきます。

コーポレート
ガバナンス体制

- 2017年より社外取締役を選任、取締役8名中2名を社外取締役とする体制としています。
- 取締役の経営責任の明確化と経営の監督機能を強化しています。
- 2019年より社外監査役を選任、2020年監査役会を設置し、経営の適法性および健全性を監査します。

コーポレートガバナンス体制

